委託事業実施内容報告書
平成28年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム（B）】
実施内容報告書

団体名： 小松市国際交流協会

1．事業の概要

事業名称	協働のまち「小松」推進事業
事業の目的	昨年度実施した「外国人のための日本語講師養成講座」の修了者たちは、日本語の基礎や教え方を学ぶことにより日本語力の底上げを図ることができた。今年度はその修了者たちが日本語教室初級クラスの指導補助として実際に自分たちの母語で日本語を教えることにより、日本語を学ぶことを躊躇していた外国人の学習の機会を提供し、日本語学習のすそ野を広げ、指導者の育成にもつなげる。そして将来的には日本人指導者と外国人指導者の協働による「小松式日本語教育プログラム」を策定できるよう連携を深めていく。また、地域で開催されるイベントや取組に外国人が積極的に参画・参加していくことで、行政をはじめ地域の諸団体や地域住民との連携・協力関係を築き、日本語教育の重要性や多文化共生の推進に理解をしてもらい、共生・協働のまちを地域と一緒になって進めていくことを目的とする。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	これまで継続して日本語を学習してきた外国人の日本語能力は向上してきており、地域の一員であるという意識も高まってきた。また、そのような外国人は昨年度実施した「外国人向け日本語講師養成講座」を受講したことにより、自分たちの母語で日本語を学習したい外国人のサポートをすることにも意欲的である。一方、日本語教室に参加しない外国人や、日本語が全く話せない外国人はまだまだ多く、そのような層への働きかけによる更なる日本語学習者の掘り起こしや、日本語学習支援が必要な層が日本語を学習できるような体制を整えるために、日本人及び外国人両者の協働による地域の日本語学習サポート体制を整えていく必要がある。
本事業の対象とする空白地域の状況	
事業内容の概要	○日本語力の更なるレベルアップのための継続的な日本語教室の開催。 ○地域住民とのより一層の顔の見える関係づくりのための地域活動への積極的参加・参画。 ○まちづくりを地域住民と共に担えるための、地域の魅力発見及び発信。 ○外国人から外国人への防災に対する意識啓発。日本語レベル上級者がこれまで身につけた日本語を駆使し、防災士にもチャレンジ。外国人防災士として地域で開催される防災訓練に参加することで地域の一員として活躍し、共生や協働、まちづくりを担うことができるよう推進する。 ○日本語学習の更なるすそ野拡大の為、昨年度実施した「外国人向け日本語講師養成講座」修了者の初級クラス指導補助として活躍の場を提供。日本語が全く話せず日本語学習に躊躇していた外国人の学習の機会提供になると共に、教える側の外国人にとって協働の意識を高め、外国人当事者にも日本語教育の重要性を認識してもらいより強固な体制整備へとつなげていく。
事業の実施期間	平成28年5月～平成29年2月（10か月間）

2．事業の実施体制

（1）運営委員会

【運営委員】

1	志村　恵	金沢大学
2	今井　武	公益財団法人　石川県国際交流協会
3	横山　昭博	小松市　国際都市推進課
4	寺田　泰輔	小松市消防本部
5	郷原　トモコ	在住外国人
6	村上　洋子	福井大学
7	北川　雅恵	小松市教育委員会
8	グラッシ　徳子	小松市国際交流協会
9	本田　昌代	小松市国際交流協会

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成28年5月22日（日） 14:00～16:00	2時間	こまつまちづくり交流センター	志村恵、横山昭博、寺田泰輔、郷原トモコ、村上洋子、北川雅恵、グラッシ徳子、本田昌代	・最近の在住外国人の動向について情報共有 ・取組2：雨天中止時の連絡方法について ・取組3：外国人防災士が市主催の防災訓練でどのように活躍できるか、どのように自治会と関わっていけるのか等を検討 ・取組4：視察場所や内容等を検討 ・取組5：昨年度の反省点を踏まえ発表方法等の検討
2	平成28年11月27日(日) 14:00～16:00	2時間	こまつまちづくり交流センター	志村恵、今井武、横山昭博、寺田泰輔、郷原トモコ、村上洋子、北川雅恵、グラッシ徳子、本田昌代	・各クラスの日本語学習者の動向や動向に沿った日本語教室の運営について ・外国人日本語講師の状況・課題について ・実施済の各取組についての課題・反省点や成果等の報告 ・次年度「生活者事業」について検討
3	平成29年2月12日（日） 14:00～16:00	2時間	こまつまちづくり交流センター	志村恵、今井武、横山昭博、寺田泰輔、郷原トモコ、村上洋子、北川雅恵、グラッシ徳子、本田昌代	・外国人日本語講師の状況・課題、多言語化について ・初級クラスの対応の難しさについて ・防災に対する活動は外国人住民の意識啓発につながってきているので継続していく必要がある ・地域住民の外国人に対する理解促進はまだまだ継続して進めていかなければいけない

（2）地域における関係機関・団体等との連携・協力

連携体制	複数年度の文化庁委託事業により行政各関係部局や大学、地域コミュニティーとの連携・協力体制が徐々に出来てきたことから、本年度も小松市や小松市消防本部、地域のボランティア団体等と連携し、日本語教育の体制整備を進めると共に教室が活動の中枢となり、外国人住民がまちづくりにも積極的に参加していけるよう、「協働」の姿勢を打ち出した連携を行う。また、小松市国際交流協会に登録している文化体験ボランティアの方々にも協力してもらい、文化体験を行うことによって市民との顔の見える関係づくりを図り、日本語教育の重要性を認識してもらい推進につなげていく。更に今年度は初めて、在住外国人に運営委員に加わってもらうなど、外国人コミュニティーをまちづくりの中に引き出せるよう、外国人コミュニティーとも連携を図り、市内各関係者と繋がりを作っていくとともに、本事業のメンバーにも加わってもらい、本当に地域にとって意味のある事業にするため連携・協力を推進していく。

（3）中核メンバー及び関係機関・団体による本事業の実施体制

本事業の実施体制	福井大学で日本語講師をしている村上氏、市教育委員会から派遣され市内小学校で外国籍児童に日本語指導をしている北川氏、日本語教育21年の実績と経験を持ち当協会の日本語コーディネーターも務めるグラッシ氏の3名の中核メンバーを中心に、当協会所属の他日本語講師にも本事業実施に積極的に携わってもらう。グラッシ氏が本田と緊密に連携し、各取組間の進捗を管理する。取組1は北川氏、取組2・3は村上氏が指導を担当し、他の講師やボランティアをとりまとめ、取組の進行について把握する。中核メンバーは毎週打合せを行い、事業責任者に進捗管理・情報交換を行うと共に、コーディネーターは運営委員に定期的に各取組の進捗や現状の課題などについて共有を図る。

3. 各取組の報告

＜取組1　超級クラス＞

取組1　超級クラス		
取組の名称		協働のための日本語教室（超級クラス）
取組の目標		「生活者としての外国人」のための標準的なカリキュラム案とカリキュラム案に基づき近年作成した教材を使用し、日本語レベルの更なる向上と地域行事への積極的な参画・参加による交流、顔の見える関係づくり、また文化的背景の学習及び知識の習得を目指す。
取組の内容		超級クラスは、小松市を訪れる外国人に対し多言語で観光ガイドができるよう「多言語文化通訳」として地域のボランティアガイドの一員に加わり活躍できるような人材育成を目指すことにより、行政関係者や地域に対し、日本語教育推進の重要性を理解してもらう。また、地域の文化体験ボランティアに協力をしてもらい日本文化を体験することにより、地域住民との顔の見える関係づくりを推進していく。
□	空白地域を含む場合、空白地域での活動	
取組による体制整備		昨年度実施した「外国人向け日本語講師養成講座」の修了者たちに初級クラスの指導補助として加わってもらうことで、日本語学習の機会を提供することができ、新たな日本語学習者の掘り起こしができる。また日本人指導者と外国人指導者との連携による日本語教育の体制整備につなげる。
取組による日本語能力の向上		超級クラスは地域のボランティアガイドの一員に加わり地域住民と共にまちづくりを担う一員として、地域で活躍できる日本語習得を目指す。
参加対象者		外国人　／　参加者数（内 外国人数）：17人（17人）
広報及び募集方法		市役所及び当協会ホームページやFacebook、市役所の広報誌と多言語広報誌での募集。また、市役所市民課や学校教育課、国際都市推進課など関係課窓口にてチラシ配布や声かけを依頼。
開催時間数		総時間　74時間（空白地域　　時間）
主な連携・協働先		小松市、小松市消防本部、里山自然学校こまつ滝ヶ原、小松ロータリークラブ、外国人コミュニティ
開催場所		こまつまちづくり交流センター

参加者の出身・国別内訳（人数）	中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
	7			1			1	6
	ウルグアイ（1人）、アメリカ（1人）							

実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成28年5月15日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	今年度の活動予定	今年度の超級クラスで取り組む内容を考える	大杉　桂子	吉田　良恵
2	平成28年5月22日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	歌舞伎を知ろう	小松市の有名な子供歌舞伎の内容を知り、歌舞伎を楽しむ	村上　洋子	吉田　良恵
3	平成28年5月29日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	歌舞伎を説明しよう	見てきた歌舞伎の内容を話す	北川　雅恵	吉田　良恵
4	平成28年6月5日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	歌舞伎に挑戦しよう	役者になったつもりでやってみる	牧本　暢子	吉田　良恵
5	平成28年6月12日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	ボランティア活動とは	ボランティア活動への理解を深める	大杉　桂子	吉田　良恵
6	平成28年6月19日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	クリーンビーチ石川	ゴミや環境問題について考える	北川　雅恵	吉田　良恵
	平成28年6月19日（日）8:00～10:00	2	小松市安宅海岸	9		ボランティア活動へ通訳を兼ねて参加する		
7	平成28年6月26日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	拾ったゴミを知ろう	集めたゴミはどこからどのように流れて来たか考える	北川　雅恵	吉田　良恵
8	平成28年7月3日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	滝ヶ原について	小松の名所滝ヶ原について調べる	牧本　暢子	吉田　良恵
9	平成28年7月10日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	石切場とは	日本遺産に認定された滝ヶ原の石切場とはどんなところか知る	大杉　桂子	吉田　良恵
10	平成28年7月17日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	ストーンハートプロジェクト	自分たちにできるまちづくりについて考える	大杉　桂子（超級・上級合同クラス）	吉田　良恵
	平成28年7月17日（日）9:00～15:00	6	里山自然学校こまつ滝ヶ原	4		滝ヶ原で行われるプロジェクトに通訳を兼ねて参加する		
11	平成28年7月24日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	滝ヶ原のいいところをまとめよう	プロジェクトに参加して小松市滝ケ原のいいところをまとめる	村上　洋子	吉田　良恵
12	平成28年7月31日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	まとめたものを発表しよう	参加できなかった人にもわかるように発表する	北川　雅恵	吉田　良恵

13	平成28年8月7日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	地震について考えよう	4月に起きた熊本地震の現状を知る	牧本　暢子	吉田　良恵
14	平成28年8月21日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	地震について考えよう	災害ボランティアについて学ぶ	牧本　暢子	吉田　良恵
15	平成28年8月28日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	地震について考えよう	日本の地形、火山について知る	北川　雅恵	吉田　良恵
16	平成28年9月4日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	地震について考えよう	災害時の避難場所を確認する	牧本　暢子	吉田　良恵
17	平成28年9月11日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	小松市のゴミ有料化に	市のゴミ袋有料化への経緯を知る	北川　雅恵	吉田　良恵
18	平成28年9月18日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	ゴミ袋の入手先	有料になるゴミ袋の入手先や出し方を学ぶ	牧本　暢子	吉田　良恵
19	平成28年9月25日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	母語で伝えよう	10月からのゴミ袋の有料化を母語で知らせる	北川　雅恵	吉田　良恵
20	平成28年10月2日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	災害時の避難方法	超級レベルでできることは何かを考える	牧本　暢子	吉田　良恵
21	平成28年10月9日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	小松市防災訓練事前学習	訓練で自分の母語で説明できるようにする	北川　雅恵	吉田　良恵
22	平成28年10月16日 （日） 8:00～12:00	4	小松市立粟津小学校	7	防災訓練	小松市総合防災訓練に参加する		
23	平成28年10月23日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	防災訓練の振り返り	防災訓練でわかったことを確認する	大杉　桂子	吉田　良恵
24	平成28年10月30日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	津波について知ろう	津波の仕組みや避難場所を考える	北川　雅恵	吉田　良恵
25	平成28年11月6日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	風水害について知ろう	河川の氾濫をどのように多言語で知らせるか考える	牧本　暢子	吉田　良恵
26	平成28年11月13日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	土砂災害についていろう	土砂災害の危険区域の現状を知る	北川　雅恵	吉田　良恵
27	平成28年11月20日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	パワーポイントを作ろう	パワーポイントの作り方を知る	牧本　暢子	吉田　良恵
28	平成28年11月27日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	取組発表の準備	クリーンビーチいしかわのまとめ	北川　雅恵	吉田　良恵
29	平成28年12月4日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	取組発表の準備	ストーンプロジェクトのまとめ	牧本　暢子	吉田　良恵
30	平成28年12月11日 （日） 9:00～12:00	3	小松市消防本部	9	防災訓練	外国人自主防災訓練に参加する		
31	平成28年12月18日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	取組発表の準備	防災訓練のまとめ	北川　雅恵	吉田　良恵
32	平成29年1月8日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	発表練習	文化庁取組発表練習	牧本　暢子	吉田　良恵
33	平成29年1月15日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	地域の人に知ってもらおう	地域住民に自分の国の料理を知ってもらうためのレシピを書く	北川　雅恵	吉田　良恵
34	平成29年1月22日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	地域の人に知ってもらおう	地域住民に自分の国の酒を知ってもらうためのレシピを書く	北川　雅恵	吉田　良恵
35	平成29年1月29日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	日本の文化を知ろう	地元の酒蔵を見学し日本酒の作り方を知る	北川　雅恵	吉田　良恵
36	平成29年2月5日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	文化の違いを知ろう	地域住民と共に日本と母国の料理や酒の違いを知り、実際に作って味わう	牧本　暢子	吉田　良恵
37	平成29年2月12日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	和太鼓の里見学	近隣にある和太鼓の里を見学する	北川　雅恵	吉田　良恵
38	平成29年2月19日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	和太鼓の里を紹介しよう	紹介文を書いてみる	牧本　暢子	吉田　良恵
39	平成29年2月26日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	今年度の振り返り	一年の活動を振り返る	北川　雅恵	吉田　良恵

（1）特徴的な活動風景（2～3回分）

〇取組事例①

【第19回　9月25日】
小松市は今年度10月からゴミ袋が有料化となり、全世帯にハガキでゴミ袋の引換券が配布された。それを受けて超級クラスではゴミの問題について考え、また初級や初中級の人たちにこのハガキを持って行き、ゴミ袋と引き換えるように伝え、10月1日以降は普通のゴミ袋で出したものは回収されないこと、指定のゴミ袋には必ず番地または名前を記入することを超級クラスが母語で説明して回った。

〇取組事例②

【第35回　1月29日】
地域の酒蔵を見学させてもらい、日本酒の作り方を学んだ。日本人と共に見学し、母国の酒との違いを活発に話し合うことができた。試飲のおかげでいつもより軽やかな口調で積極的に会話ができたように思う。

（2）　目標の達成状況・成果

今年度超級クラスは多言語文化通訳を目指して、小松市の伝統的な子供歌舞伎を中心に、日本遺産に認定された小松市の石文化を知るために滝ヶ原のストーンハートプロジェクトに参加したり、酒蔵見学や太鼓の里の見学も行った。それに加え、小松市からの要望で多言語防災士を必要とするとのことで、防災にも力を入れた。超級の中で6名が防災士の試験に合格した。文化通訳はそれほど負担もなく、楽しかったというアンケート結果であるが、防災士は覚えることも多く学習者の負担が大きかったようだが、勉強になり、役には立つが大変だったという意見が多かった。

（3）　今後の改善点について

超級クラスはいろいろなイベントでも通訳として手伝ってもらうことも多く、負担が多くなるようだ。上級クラスのメンバーにも協力をしてもらい、負担を減らしていけるようにしたい。ベトナム人で超級クラスの学習者がいないので、ベトナム語だけ通訳が十分でないのが今後の課題である。

＜取組1　上級クラス＞

取組1　上級クラス		
取組の名称		協働のための日本語教室（上級クラス）
取組の目標		「生活者としての外国人」のための標準的なカリキュラム案とカリキュラム案に基づき近年作成した教材を使用し、日本語レベルの更なる向上と地域行事への積極的な参画・参加による交流、顔の見える関係づくり、また文化的背景の学習及び知識の習得を目指す。
取組の内容		上級クラスは今年度も昨年度に引き続き、地域活動に受動的ではなく能動的に参画・参加していけるよう日本語レベルの更なる向上はもちろん、各行事ごとの専門用語や文化的背景を理解させる。
□	空白地域を含む場合、空白地域での活動	
取組による体制整備		昨年度実施した「外国人向け日本語講師養成講座」の修了者たちに初級クラスの指導補助として加わってもらうことで、日本語学習の機会を提供することができ、新たな日本語学習者の掘り起こしができる。また日本人指導者と外国人指導者との連携による日本語教育の体制整備につなげる。
取組による日本語能力の向上		中級クラス、上級クラスは日常会話を円滑にこなせるようになり、更には会社や、社会で困らないように学習を続ける。
参加対象者		外国人　／　参加者数（内 外国人数）：25人（25人）
広報及び募集方法		市役所及び当協会ホームページやFacebook、市役所の広報誌と多言語広報誌での募集。また、市役所市民課や学校教育課、国際都市推進課など関係課窓口にてチラシ配布や声かけを依頼。
開催時間数		総時間　74時間（空白地域　　時間）
主な連携・協働先		小松市、小松市消防本部、里山自然学校こまつ滝ヶ原、小松ロータリークラブ、外国人コミュニティ
開催場所		こまつまちづくり交流センター

参加者の出身・国別内訳（人数）

中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
4	14				1	3	3

実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成28年5月15日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	今年度の活動予定	今年度の上級クラスで取り組む内容を考える	中村　知恵	吉田　良恵
2	平成28年5月22日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	お旅まつりを知ろう	小松市の有名な子供歌舞伎の内容を知る	大杉　桂子	吉田　良恵
3	平成28年5月29日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	俳句を作ろう	俳句について学ぶ	天野　晴美	吉田　良恵
4	平成28年6月5日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	俳句を飾ろう	作った俳句を色紙に書く	中村　知恵	吉田　良恵
5	平成28年6月12日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	ボランティア活動とは	ボランティア活動への理解を深める	北川　雅恵	吉田　良恵
6	平成28年6月19日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	クリーンビーチ石川	ゴミや環境問題について考える	天野　晴美	吉田　良恵
	平成28年6月19日（日）8:00～10:00	2	小松市安宅海岸	4		ボランティア活動に参加する		
7	平成28年6月26日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	拾ったゴミを知ろう	クリーンビーチいしかわのまとめ	天野　晴美	吉田　良恵
8	平成28年7月3日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	七夕	七夕飾りを作り願い事を書く	中村　知恵	吉田　良恵
9	平成28年7月10日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	滝ヶ原について	小松の名所滝ヶ原について知る	北川　雅恵	吉田　良恵

10	平成28年7月17日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	ストーンハートプロジェクト	自分たちにできるまちづくりについて考える	大杉　桂子 （超級・上級合同クラス）	吉田　良恵
	平成28年7月17日 （日） 9:00～15:00	6	里山自然学校こまつ滝ヶ原	3		滝ヶ原で行われるプロジェクトに参加する		
11	平成28年7月24日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	感想を書こう	プロジェクトに参加した感想を書く	天野　晴美	吉田　良恵
12	平成28年7月31日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	擬音語	漫画などでよく使われる擬音語を紹介する	中村　知恵	吉田　良恵
13	平成28年8月7日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	擬音語	興味のある擬音語を教え合う	大杉　桂子	吉田　良恵
14	平成28年8月21日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	擬態語	擬態語の意味を想像する	大杉　桂子	吉田　良恵
15	平成28年8月28日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	バーベキューをしよう	バーベキューの計画と準備	中村　知恵	吉田　良恵
16	平成28年9月4日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	ゴミ問題を考える	環境にやさしいゴミの分別の仕方を学ぶ	大杉　桂子	吉田　良恵
17	平成28年9月11日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	小松市のゴミ袋有料化に	市のゴミ袋有料化への経緯を知る	大杉　桂子	吉田　良恵
18	平成28年9月18日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	指定ゴミ袋の入手先	有料になるゴミ袋の入手先や出し方を学ぶ	大杉　桂子	吉田　良恵
19	平成28年9月25日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	地震について考える	熊本地震の現状を知り、災害の恐ろしさを認識する	中村　知恵	吉田　良恵
20	平成28年10月2日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	消防署の働き	救急車、消防車の電話のかけ方を知る	中村　知恵	吉田　良恵
21	平成28年10月9日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	小松市主催の防災訓練事前学習	次週の防災訓練の事前学習をする	大杉　桂子	吉田　良恵
22	平成28年10月16日 （日） 8:00～12:00	4	小松市立粟津小学校	3	防災訓練	小松市総合防災訓練に参加する		
23	平成28年10月23日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	防災訓練の振り返り	防災訓練でわかったことを確認する	中村　知恵	吉田　良恵
24	平成28年10月30日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	医療機関を調べよう	近くの医療機関を調べる	中村　知恵	吉田　良恵
25	平成28年11月6日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	医療機関を紹介しよう	他の人に紹介できるよう時間や休診日を調べる	大杉　桂子	吉田　良恵
26	平成28年11月13日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	受診の流れを知ろう	初診のときの受診の仕方を知る	大杉　桂子	吉田　良恵
27	平成28年11月20日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	薬のもらい方を知ろう	薬のもらい方を知る	中村　知恵	吉田　良恵
28	平成28年11月27日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	自分の意見を書こう	1月に行われるスピーチコンテストの原稿を書く	大杉　桂子	吉田　良恵
29	平成28年12月4日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	自分の意見を書こう	原稿の修正	大杉　桂子	吉田　良恵
30	平成28年12月11日 （日） 9:00～12:00	3	小松市消防本部	7	防災訓練	外国人自主防災訓練に参加する		
31	平成28年12月18日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	自分の意見を発表しよう	書いた原稿を読む練習	大杉　桂子	吉田　良恵
32	平成29年1月8日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	発表練習	スピーチコンテスト発表の練習	中村　知恵	吉田　良恵
33	平成29年1月15日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	今年の目標	1年の目標を考える	中村　知恵	吉田　良恵
34	平成29年1月22日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	日本の文化を知ろう	酒蔵見学の事前学習	大杉　桂子	吉田　良恵
35	平成29年1月29日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	日本の文化を知ろう	地元の酒蔵を見学し日本酒の作り方を知る	大杉　桂子	吉田　良恵
36	平成29年2月5日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	日本の文化を知ろう	和太鼓の里見学の事前学習	大杉　桂子	吉田　良恵
37	平成29年2月12日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	日本の文化を知ろう	近隣にある和太鼓の里を見学する	中村　知恵	吉田　良恵
38	平成29年2月19日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	日本の文化を知ろう	酒蔵、和太鼓で分かったこと自分の国との違いを話す	中村　知恵	吉田　良恵
39	平成29年2月26日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	今年度の振り返り	一年の活動を振り返る	大杉　桂子	吉田　良恵

（1）特徴的な活動風景（2～3回分）

〇取組事例①

【第32回　1月8日】 スピーチコンテスト練習
午後から行われる小松市国際交流協会の日本語スピーチコンテストで自分の考えや意見を発表するために練習を行った。今年度から小松ロータリークラブの協賛もあり賞金が出ると聞いて頑張る学習者たちだった。大勢の人の前で母語以外で発表するのは初めての人が多く、緊張していたが、それでも最後まで諦めずにみな原稿を覚えて発表することができた。

〇取組事例②

【第37回　29年2月12日】
日本文化体験ツアーとして、隣の白山市にある浅野川太鼓の里を見学に行った。どこの国にも打楽器はあるがそれぞれ特徴があるようで、ここには世界各国の太鼓が展示してあり、また太鼓の実際に体験することもでき学習者たちは楽しそうに和太鼓を打っていた。

（2） 目標の達成状況・成果

この一年間で十分に日本語の能力が磨かれ、スピーチコンテストでは自分の言葉で考えていることを発表できた。超級クラスの人がいるので頼ってしまうところもあるが、聞く話す能力は問題ない。アンケートによると、活動は楽しく参加できたが、まだ読み書きに自信がないという意見が多かった。

（3） 今後の改善点について

アンケート結果を踏まえて、読み書きは個人差もあり、漢字圏・非漢字圏によってもかなり差があるので、一緒に進めるのは難しいが、簡単な新聞記事や音読などを取り入れて、漢字への苦手意識を少なくしていくようにしたい。

＜取組1　中級クラス＞

取組1　中級クラス		
取組の名称		協働のための日本語教室（中級クラス）
取組の目標		「生活者としての外国人」のための標準的なカリキュラム案とカリキュラム案に基づき近年作成した教材を使用し、日本語レベルの更なる向上と地域行事への積極的な参画・参加による交流、顔の見える関係づくり、また文化的背景の学習及び知識の習得を目指す。
取組の内容		中級クラスは日常会話は困らないものの、会社での会話、読み書きなどに困らないように学習を続ける。
□	空白地域を含む場合、空白地域での活動	
取組による体制整備		昨年度実施した「外国人向け日本語講師養成講座」の修了者たちに初級クラスの指導補助として加わってもらうことで、日本語学習の機会を提供することができ、新たな日本語学習者の掘り起こしができる。また日本人指導者と外国人指導者との連携による日本語教育の体制整備につなげる。
取組による日本語能力の向上		中級クラス、上級クラスは日常会話を円滑にこなせるようになり、更には会社や、社会で困らないように学習を続ける。
参加対象者		外国人　／　参加者数（内 外国人数）：41人（41人）
広報及び募集方法		市役所及び当協会ホームページやFacebook、市役所の広報誌と多言語広報誌での募集。また、市役所市民課や学校教育課、国際都市推進課など関係課窓口にてチラシ配布や声かけを依頼。
開催時間数		総時間　74時間（空白地域　　時間）
主な連携・協働先		小松市、小松市消防本部、里山自然学校こまつ滝ヶ原、小松ロータリークラブ、外国人コミュニティ
開催場所		こまつまちづくり交流センター

参加者の出身・国別内訳（人数）	中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
	1	25			1		3	8

アメリカ（2人）、ペルー（1人）

実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成28年5月15日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	15	今年度の活動予定	今年度の中級クラスで取り組む内容、及び授業の進め方	シケイラ　ロボ初音	吉田　良恵
2	平成28年5月22日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	お旅まつりを知ろう	小松市の有名な子供歌舞伎の内容を知る	多島　智枝	吉田　良恵
3	平成28年5月29日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	語彙を増やそう	日用品、雑貨、電気製品などの語彙を知る	グラッシ　徳子	吉田　良恵
4	平成28年6月5日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	語彙を増やそう	カタカナ言葉を知る	シケイラ　ロボ初音	吉田　良恵
5	平成28年6月12日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	ボランティア活動とは	ボランティア活動への理解を深める	天野　晴美	吉田　良恵
6	平成28年6月19日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	クリーンビーチ石川	ゴミや環境問題について考える	グラッシ　徳子	吉田　良恵
	平成28年6月19日（日）8:00～10:00	2	小松市安宅海岸	4		ボランティア活動に参加する		
7	平成28年6月26日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	拾ったゴミを知ろう	クリーンビーチいしかわのまとめ	グラッシ　徳子	吉田　良恵
8	平成28年7月3日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	七夕	七夕の由来を知り七夕飾りを作り願い事を書く	天野　晴美	吉田　良恵
9	平成28年7月10日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	滝ヶ原について	小松の名所滝ヶ原について知る	シケイラ　ロボ初音	吉田　良恵

10	平成28年7月17日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	ストーンハートプロジェクト	自分たちにできるまちづくりについて考える	多島　智枝	吉田　良恵
	平成28年7月17日 （日） 9:00～15:00	6	里山自然学校こまつ滝ヶ原	5		滝ヶ原で行われるプロジェクトに参加する		
11	平成28年7月24日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	感想を書こう	プロジェクトに参加した感想を書く	多島　智枝	吉田　良恵
12	平成28年7月31日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	擬音語	擬音語とは	シケイラ　ロボ 初音	吉田　良恵
13	平成28年8月7日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	擬音語	興味のある擬音語を教え合う	天野　晴美	吉田　良恵
14	平成28年8月21日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	擬音語	擬音語の意味を想像する	シケイラ　ロボ 初音	吉田　良恵
15	平成28年8月28日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	バーベキューをしよう	バーベキューの準備	天野　晴美	吉田　良恵
16	平成28年9月4日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	17	ゴミ問題を考える	ゴミの分別の仕方を学ぶ	シケイラ　ロボ 初音	吉田　良恵
17	平成28年9月11日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	16	小松市のゴミ袋有料化に	市のゴミ袋有料化を知る	シケイラ　ロボ 初音	吉田　良恵
18	平成28年9月18日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	指定ゴミ袋の入手先	有料になるゴミ袋の入手先や出し方を学ぶ	天野　晴美	吉田　良恵
19	平成28年9月25日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	19	地震について考える	避難場所を知る	天野　晴美	吉田　良恵
20	平成28年10月2日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	21	消防署の働き	救急車、消防車の電話のかけ方を知る	シケイラ　ロボ 初音	吉田　良恵
21	平成28年10月9日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	14	小松市主催の防災訓練事前学習	次週の防災訓練の事前学習をする	多島　智枝	吉田　良恵
22	平成28年10月16日 （日） 8:00～12:00	4	小松市立粟津小学校	7	防災訓練	小松市総合防災訓練に参加する		
23	平成28年10月23日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	14	防災訓練の振り返り	防災訓練でわかったことを確認する	天野　晴美	吉田　良恵
24	平成28年10月30日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	14	医療機関を調べよう	近くの医療機関を調べる	多島　智枝	吉田　良恵
25	平成28年11月6日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	医療機関を紹介しよう	開院時間や休診日を調べる	シケイラ　ロボ 初音	吉田　良恵
26	平成28年11月13日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	受診の流れを知ろう	初診のときの受診の仕方を知る	天野　晴美	吉田　良恵
27	平成28年11月20日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	問診票を書こう	問診票を書く	シケイラ　ロボ 初音	吉田　良恵
28	平成28年11月27日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	薬のもらい方を知ろう	薬のもらい方、書いてある内容を知る	天野　晴美	吉田　良恵
29	平成28年12月4日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	旅行を計画しよう	時刻表の読み方を知る	シケイラ　ロボ 初音	吉田　良恵
30	平成28年12月11日 （日） 9:00～12:00	3	小松市消防本部	8	防災訓練	外国人自主防災訓練に参加する		
31	平成28年12月18日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	旅行を計画しよう	ホテルやチケットの予約の仕方を知る	シケイラ　ロボ 初音	吉田　良恵
32	平成29年1月8日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	文化体験	餅つき、書き初め	天野　晴美 シケイラ　ロボ 初音	吉田　良恵
33	平成29年1月15日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	今年の目標	1年の目標を考える	天野　晴美	吉田　良恵
34	平成29年1月22日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	住民票をとろう	市役所の書類のとり方を知る	シケイラ　ロボ 初音	吉田　良恵
35	平成29年1月29日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	役所の言葉	役所のサービスの言葉を知る	シケイラ　ロボ 初音	吉田　良恵
36	平成29年2月5日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	広報を読もう	広報こまつを読む	シケイラ　ロボ 初音	吉田　良恵
37	平成29年2月12日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	楽しかったことを話そう	1年の活動で楽しかったことを話そう	天野　晴美	吉田　良恵
38	平成29年2月19日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	楽しかったことを書こう	1年の活動で楽しかったことを書こう	シケイラ　ロボ 初音	吉田　良恵
39	平成29年2月26日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	今年度の振り返り	書いたものを発表しよう	シケイラ　ロボ 初音	吉田　良恵

（1）特徴的な活動風景（2～3回分）

〇取組事例①

【第6回　28年6月19日】
朝7時半に集合し、市役所のバスで海岸まで行き、日本人と一緒に海岸清掃のボランティア活動に参加した。小松市は10月からゴミ袋が有料化となったのでゴミ問題を考えるのにこの清掃活動は非常に役に立った。

〇取組事例②

【第10回　28年7月17日】
小松市滝ケ原町の石切場に出かけて、自然と親しみ、一緒に参加した日本人と交流しながら、日本遺産認定となった自分の町を知ることができた。

（2）　目標の達成状況・成果

バスで外に出掛ける活動は人気があり、好評だった。中級レベルの外国人の日本語は生活に困るレベルではないので、仕事が忙しいとどうしても日本語教室に来なくなってしまうので、継続させるためにいろいろな企画を考えて授業を進めた。

（3）　今後の改善点について

読み書きにレベル差があるので、どこまでするかが今後の問題点である。今年度は市役所のことやゴミ処理場のことも勉強したが、授業が日曜日なので実際に市役所やゴミ処理場を見学することができず、残念だった。

＜取組1　初中級クラス＞

取組1　初中級クラス		
取組の名称		協働のための日本語教室（初中級クラス）
取組の目標		「生活者としての外国人」のための標準的なカリキュラム案とカリキュラム案に基づき近年作成した教材を使用し、日本語レベルの更なる向上と地域行事への積極的な参画・参加による交流、顔の見える関係づくり、また文化的背景の学習及び知識の習得を目指す。
取組の内容		初中級は生活の中で不自由がないように、日常生活が円滑に行えるようにレベルアップを目指す。
□	空白地域を含む場合、空白地域での活動	
取組による体制整備		昨年度実施した「外国人向け日本語講師養成講座」の修了者たちに初級クラスの指導補助として加わってもらうことで、日本語学習の機会を提供することができ、新たな日本語学習者の掘り起こしができる。また日本人指導者と外国人指導者との連携による日本語教育の体制整備につなげる。
取組による日本語能力の向上		初級クラス、初中級クラスは生活に必要な日本語を習得し、小松で安心して生活できるようにする。
参加対象者	外国人	参加者数（内 外国人数）：48人（48人）
広報及び募集方法		市役所及び当協会ホームページやFacebook、市役所の広報誌と多言語広報誌での募集。また、市役所市民課や学校教育課、国際都市推進課など関係課窓口にてチラシ配布や声かけを依頼。
開催時間数	総時間　74時間（空白地域　　時間）	
主な連携・協働先		小松市、小松市消防本部、里山自然学校こまつ滝ヶ原、小松ロータリークラブ、外国人コミュニティ
開催場所		こまつまちづくり交流センター

参加者の出身・国別内訳（人数）	中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
	2	20				6	7	9

ドイツ（1人）、マレーシア（1人）、アメリカ（1人）、香港（1人）

実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成28年5月15日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	15	あいさつ	あいさつの文化的相違を理解する	牧本　暢子	吉田　良恵
2	平成28年5月22日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	自己紹介	自己紹介や他者紹介を理解する	シケイラ　ロボ初音	吉田　良恵
3	平成28年5月29日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	目的に移動	公共機関を利用する	中村　知恵	吉田　良恵
4	平成28年6月5日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	15	目的に移動	タクシーを利用する	多島　智枝	吉田　良恵
5	平成28年6月12日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	15	目的に移動	目的地までの道を尋ねる	牧本　暢子	吉田　良恵
6	平成28年6月19日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	クリーンビーチ石川	ゴミや環境について考える	多島　智枝	吉田　良恵
	平成28年6月19日（日）8:00～10:00	2	小松市安宅海岸	11		ボランティア活動に参加する		
7	平成28年6月26日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	ゴミ問題	小松市でのごみの分別が正しくできるようになる	中村　知恵	吉田　良恵
8	平成28年7月3日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	ゴミ問題	リサイクルについて学習する	シケイラ　ロボ初音	吉田　良恵
9	平成28年7月10日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	ゴミ問題	分別が難しいゴミについての対応を知る	牧本　暢子	吉田　良恵
10	平成28年7月17日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	滝ヶ原について	小松の名所滝ヶ原について知る	牧本　暢子	吉田　良恵
	平成28年7月17日（日）9:00～15:00	6	里山自然学校こまつ滝ヶ原	2		滝ヶ原で行われるプロジェクトに参加する		
11	平成28年7月24日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	感想を書こう	プロジェクトに参加した感想を簡単に書く	中村　知恵	吉田　良恵
12	平成28年7月31日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	地域社会の一員となる	各種手続きの種類や仕方を理解する	多島　智枝	吉田　良恵
13	平成28年8月7日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	地域社会の一員となる	税金や確定申告の仕方を理解する	グラッシ　徳子	吉田　良恵
14	平成28年8月21日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	通信する	電話の掛け方や、受け方を理解する	多島　智枝	吉田　良恵

15	平成28年8月28日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	料理を作ろう	料理に必要な言葉を知る	グラッシ　徳子	吉田　良恵
16	平成28年9月4日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	料理を作ろう	調理実習をする	多島　智枝	吉田　良恵
17	平成28年9月11日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	物品を購入する	必要な物を売っている場所を聞く	多島　智枝	吉田　良恵
18	平成28年9月18日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	物品を購入する	商品について聞いて情報を得る	中村　知恵	吉田　良恵
19	平成28年9月25日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	物品を購入する	商品の機能や使い方、値段を聞くことができる	グラッシ　徳子	吉田　良恵
20	平成28年10月2日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	防災訓練	小松市主催の防災訓練に参加するための事前学習①	多島　智枝	吉田　良恵
21	平成28年10月9日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	防災訓練	小松市主催の防災訓練に参加するための事前学習②	グラッシ　徳子	吉田　良恵
22	平成28年10月16日 （日） 8:00～12:00	4	小松市立粟津小学校	3	防災訓練	小松市総合防災訓練に参加する		
23	平成28年10月23日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	医療機関で治療を受ける	医者に自分の症状を伝えることができる	多島　智枝	吉田　良恵
24	平成28年10月30日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	医療機関で治療を受ける	問診票の書き方、答え方	グラッシ　徳子	吉田　良恵
25	平成28年11月6日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	災害に備え対応する	気象情報に留意し理解する	多島　智枝	吉田　良恵
26	平成28年11月13日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	非常のとき	大雨や台風情報に留意し理解し行動する	多島　智枝	吉田　良恵
27	平成28年11月20日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	非常のとき	避難場所・方法の情報を理解したり人に聞いたりする	グラッシ　徳子	吉田　良恵
28	平成28年11月27日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	救命救急	消防・救急に電話する	グラッシ　徳子	吉田　良恵
29	平成28年12月4日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	救命救急	防災訓練のための事前学習	多島　智枝	吉田　良恵
30	平成28年12月11日 （日） 9:00～12:00	3	小松市消防本部	6	救命救急	外国人自主防災訓練に参加する		
31	平成28年12月18日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	プレゼントをする、受け取る	プレゼントをもらったり、あげたりする時の日本語を学ぶ	天野　晴美	吉田　良恵
32	平成29年1月8日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	お正月行事	日本の伝統的なお正月を理解し、体験する	グラッシ　徳子 多島　智枝	吉田　良恵
33	平成29年1月15日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	医療機関で治療を受ける	検査について知る	多島　智枝	吉田　良恵
34	平成29年1月22日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	薬の飲み方	医者でもらった薬の飲み方がわかるようになる	多島　智枝	吉田　良恵
35	平成29年1月29日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	郵便局を利用する	郵便局で荷物を送ったり送金したりする	グラッシ　徳子	吉田　良恵
36	平成29年2月5日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	宅配便を利用する	不在配達通知に対応する	多島　智枝	吉田　良恵
37	平成29年2月12日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	市役所での手続き	必要箇所に記入し必要な書類を揃える	多島　智枝	吉田　良恵
38	平成29年2月19日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	自分の意見を言う	自分の考えが伝えられるようになる①	多島　智枝	吉田　良恵
39	平成29年2月26日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	自分の意見を言う	自分の考えが伝えられるようになる②	グラッシ　徳子	吉田　良恵

（1）特徴的な活動風景（2～3回分）

〇取組事例①

【第16回　28年9月4日】 日本料理教室に参加する
地域で開催される「日本料理教室」に参加した。地域住民が参加外国人の各グループに1人づつ加わり教えながら一緒に巻き寿司やお吸い物などを作った。日本語講師や職場の日本人以外の人と日本語で交流をしながら前の週に習った日本語を駆使し、楽しく過ごすことができた。やはり料理教室のようなイベントは人気がありたくさんの外国人が参加していた。

〇取組事例②

【第32回　29年1月8日】 日本の伝統的なお正月を理解し、体験する
一年に一回の行事となる日本の正月について考えてみた。伝統的な正月の迎え方を学び、書初めを通し漢字について学習を深めた。また、地域によって伝統的な正月料理もあり、各家庭で違う雑煮を取り上げたり、伝統的な遊びも体験してみた。

（2） 目標の達成状況・成果

アンケート（インタビュー）で聞いてみたところ、生活や職場・日本語教室以外でも使われる日本語を使え良かったと回答があった。なんとかコミュニケーションを取ろうと努力する前向きの姿勢がうかがえた。

（3） 今後の改善点について

日本語ができないからと消極的なりがちになる学習者もいた。超級クラスや上級クラスの学習者が通訳を兼ねることもできるので、もっと積極的に参加を促し、日本語教室以外の日本語に触れる機会を提供していきたい。

＜取組1　初級クラス＞

取組1　初級クラス		
取組の名称		協働のための日本語教室（初級クラス）
取組の目標		「生活者としての外国人」のための標準的なカリキュラム案とカリキュラム案に基づき近年作成した教材を使用し、日本語レベルの更なる向上と地域行事への積極的な参画・参加による交流、顔の見える関係づくり、また文化的背景の学習及び知識の習得を目指す。
取組の内容		初級クラスは生活に必要な日本語の基礎を学ぶ。昨年度「外国人向け日本語講師養成講座」を修了した外国人に指導補助者として加わってもらうことで活躍の場を設け、日本語学習を躊躇している外国人の手助けや、初級でのつまづきを防止する。
□	空白地域を含む場合、空白地域での活動	
取組による体制整備		昨年度実施した「外国人向け日本語講師養成講座」の修了者たちに初級クラスの指導補助として加わってもらうことで、日本語学習の機会を提供することができ、新たな日本語学習者の掘り起こしができる。また日本人指導者と外国人指導者との連携による日本語教育の体制整備につなげる。
取組による日本語能力の向上		初級クラス、初中級クラスは生活に必要な日本語を習得し、小松で安心して生活できるようにする。
参加対象者		外国人　／　参加者数（内 外国人数）：41人（41人）
広報及び募集方法		市役所及び当協会ホームページやFacebook、市役所の広報誌と多言語広報誌での募集。また、市役所市民課や学校教育課、国際都市推進課など関係課窓口にてチラシ配布や声かけを依頼。
開催時間数		総時間　74時間（空白地域　　時間）
主な連携・協働先		小松市、小松市消防本部、里山自然学校こまつ滝ヶ原、小松ロータリークラブ、外国人コミュニティ
開催場所		こまつまちづくり交流センター

参加者の出身・国別内訳（人数）	中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
	9	7			3		1	17

台湾（1人）、マレーシア（1人）、イギリス（1人）、ペルー（1人）

実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成28年5月15日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	あいさつ	初対面のあいさつ方法を教え実践する。	グラッシ　徳子	吉田　良恵 盛合　マウリシオ　ヒトシ
2	平成28年5月22日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	自己紹介	簡単な自己紹介ができる	グラッシ　徳子	吉田　良恵 盛合　マウリシオ　ヒトシ 杉本　ファビオ
3	平成28年5月29日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	時間、月日	時間月日が言える、聞ける	村上　洋子	吉田　良恵 佐々木　アマウリ
4	平成28年6月5日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	目的地に移動する	往来動詞が使えるようになる	村上　洋子	吉田　良恵 盛合　マウリシオ　ヒトシ
5	平成28年6月12日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	目的地に移動する	行きたい場所に移動できるようになる	村上　洋子	吉田　良恵 盛合　マウリシオ　ヒトシ
6	平成28年6月19日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	クリーンビーチ石川	ゴミの問題について話してみる	シケイラ　ロボ初音	吉田　良恵 佐々木　アマウリ
	平成28年6月19日（日）8:00～10:00	2	小松市安宅海岸	5		ボランティア活動に参加する		
7	平成28年6月26日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	動作が言えるようになる	生活に必要な基本動詞がつかえるようになる	村上　洋子	吉田　良恵
8	平成28年7月3日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	動作が言えるようになる	簡単な日常生活を話せるようになる	グラッシ　徳子	吉田　良恵 杉本　ファビオ
9	平成28年7月10日（日）9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	位置が言えるようになる	存在や場所が話せるようになる	村上　洋子	吉田　良恵 佐々木　アマウリ

10	平成28年7月17日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	ストーンハートプロジェクト	小松の名所について話してみる	グラッシ　徳子	吉田　良恵 盛合　マウリシオ　ヒトシ
	平成28年7月17日 （日） 9:00～15:00	6	里山自然学校こまつ滝ヶ原	4		滝ヶ原で行われるプロジェクトに参加する		
11	平成28年7月24日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	買い物へ行こう	スーパーで買い物をする	グラッシ　徳子	吉田　良恵 佐々木　アマウリ
12	平成28年7月31日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	物品を購入する	必要な物を売っている場所を聞く	グラッシ　徳子	吉田　良恵 佐々木　アマウリ
13	平成28年8月7日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	料理を作ろう	料理に必要な言葉を知る	村上　洋子	吉田　良恵 盛合　マウリシオ　ヒトシ
14	平成28年8月21日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	料理を作ろう	調理実習をする	グラッシ　徳子	吉田　良恵 盛合　マウリシオ　ヒトシ
15	平成28年8月28日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	レストランを探す	希望のあるレストランを探しアドバイスを受ける	村上　洋子	吉田　良恵 佐々木　アマウリ
16	平成28年9月4日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	レストランで食事しよう	メニューを見て注文できるようになる	村上　洋子	吉田　良恵 盛合　マウリシオ　ヒトシ
17	平成28年9月11日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	応急手当	119に電話したり人を助けたりする日本語を覚える	グラッシ　徳子	吉田　良恵 ポンシアノ　マルシア 佐々木　アマウリ
18	平成28年9月18日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	医療機関で治療を受ける	医療に自分の症状を伝えられるようにする	村上　洋子	吉田　良恵 盛合　マウリシオ　ヒトシ 佐々木　アマウリ
19	平成28年9月25日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	医療機関で治療を受ける	問診票の書き方、答え方	村上　洋子	吉田　良恵 佐々木　アマウリ
20	平成28年10月2日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	非常のとき	小松市主催の防災訓練に参加するための事前学習①	村上　洋子	吉田　良恵 杉本　ファビオ
21	平成28年10月9日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	非常のとき	小松市主催の防災訓練に参加するための事前学習②	村上　洋子	吉田　良恵 盛合　マウリシオ　ヒトシ
22	平成28年10月16日 （日） 8:00～12:00	4	小松市立粟津小学校	5	非常のとき	小松市総合防災訓練に参加する		
23	平成28年10月23日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	旅行に行ってみよう	旅行の計画を立ててみる	村上　洋子	吉田　良恵 佐々木　アマウリ
24	平成28年10月30日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	予約をしてみよう	宿泊施設や交通機関を予約する	村上　洋子	吉田　良恵 ポンシアノ　マルシア
25	平成28年11月6日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	ごみ問題	リサイクルについて学習する	グラッシ　徳子	吉田　良恵 佐々木　アマウリ
26	平成28年11月13日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	ごみ問題	分別が難しいごみについての対応を知る	グラッシ　徳子	吉田　良恵 佐々木　アマウリ
27	平成28年11月20日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	薬の飲み方	薬の購入の仕方、飲み方	村上　洋子	吉田　良恵 佐々木　アマウリ
28	平成28年11月27日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	緊急時のために	AEDのための事前学習	村上　洋子	吉田　良恵 佐々木　アマウリ
29	平成28年12月4日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	緊急時のために	119に電話したり人を助けたりする日本語を覚える	グラッシ　徳子	吉田　良恵 盛合　マウリシオ　ヒトシ 佐々木　アマウリ
30	平成28年12月11日 （日） 9:00～12:00	3	小松市消防本部	6	緊急時のために	外国人自主防災訓練に参加する		
31	平成28年12月18日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	プレゼントをする	プレゼントをもらったり、あげたりする時の日本語を学ぶ	グラッシ　徳子	吉田　良恵 盛合　マウリシオ　ヒトシ 佐々木　アマウリ
32	平成29年1月8日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	お正月行事	日本の伝統的なお正月を理解し、体験する	村上　洋子	吉田　良恵 盛合　マウリシオ　ヒトシ 杉本　ファビオ
33	平成29年1月15日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	郵便局を利用する	郵便局の利用の仕方	グラッシ　徳子	吉田　良恵 盛合　マウリシオ　ヒトシ ポンシアノ　マルシア
34	平成29年1月22日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	郵便局を利用する	郵便局で荷物を送る	村上　洋子	吉田　良恵 盛合　マウリシオ　ヒトシ ポンシアノ　マルシア
35	平成29年1月29日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	宅配便を利用する	不在配達通知に関する言葉を知る	村上　洋子	吉田　良恵 盛合　マウリシオ　ヒトシ ポンシアノ　マルシア
36	平成29年2月5日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	宅配便を利用する	不在配達通知に対応する	グラッシ　徳子	吉田　良恵 盛合　マウリシオ　ヒトシ ポンシアノ　マルシア
37	平成29年2月12日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	自分の意見を言う	自分の考えが伝えられるようになる①	村上　洋子	吉田　良恵 盛合　マウリシオ　ヒトシ 杉本　ファビオ
38	平成29年2月19日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	自分の意見を言う	自分の考えが伝えられるようになる②	村上　洋子	吉田　良恵 盛合　マウリシオ　ヒトシ ポンシアノ　マルシア
39	平成29年2月26日 （日） 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	15	自分の意見を言う	自分の考えが伝えられるようになる③	村上　洋子	吉田　良恵 盛合　マウリシオ　ヒトシ 佐々木　アマウリ

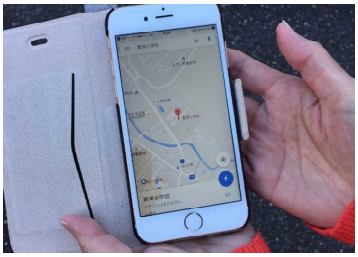
（1）特徴的な活動風景（2～3回分）

〇取組事例①

【各回】外国人講師による日本語指導
外国人講師が自らの体験を生かし、自分たちがどのようにして日本語を習得してきたか体験を交え、どうすればいいかなどもアドバイスをしながら初級クラスの外国人に日本語を指導した。

〇取組事例②

【第22回　28年10月16日】 小松市総合防災訓練
外国人観光客という設定で、消防署が作成した「外国語対応の避難場所マップ」を地図アプリを使用しながら、実際に携帯電話を使い災害地から避難所まで避難するという訓練を行った。地域住民と一緒になって応急手当の仕方や瓦礫の下から人を救助するなど色々な災害訓練をした。たどたどしい日本語を使いながらも、訓練に参加していた。ベトナム人学習者は「自国には水害が多いが、このような訓練はないので勉強になった」と話しており、外国人の防災意識が高まったように思える。



（2） 目標の達成状況・成果

アンケートで達成感を聞いてみた。アンケート内容は日本語ではまだ書けないことが多いので、母国語で自由に書いてもらった。実際に授業で自分たちの言葉が通じる外国人講師がいると心強いようで、普段聞けないような細かい文法の違いや、言葉のニュアンスを聞けて良かったようだ。

（3） 今後の改善点について

今後外国人講師が必要だと思われた内容の課題をまとめ、使い勝手の良い教材が必要だと思われた。

＜取組2＞

取組2	取組の名称	外国人の地域社会への参加機会創出のための日本語活動
	取組の目標	外国人が地域住民と一緒に地域で開催されるボランティア活動に参加することにより、地域で使われている方言にも慣れ、自然に使えるようになることで地域住民とより身近に接し、外国人でもできることがたくさんあることを地域住民に理解してもらう。また地域住民には同じ地域にいる外国人のことを知り、交流を図ることで、外国人＝日本語がわからないという概念を取り外してもらい、顔の見える関係づくりのきっかけとし、推進につなげる。また環境保護に対する関心を深めてもらう。
	取組の内容	身近な環境ボランティアとして石川の海岸線583キロをきれいにする海岸愛護運動「クリーンビーチ石川」に地域住民と一緒に参加し海岸線のゴミ拾いをしながら、地域の方たちと交流を図り、外国人も地域の一員であるという意識を高め、顔の見える関係づくりにつなげる。ボランティア活動の際は地域住民と外国人がペア、もしくはグループで作業をするなどの仕掛けをし、交流を通して相互理解や日本語教育を考えてもらうきっかけとする。また、環境破壊や、ゴミの不法投棄など様々な問題点を考える機会とする。 また、地域の住民と交流することで、生の日本語を覚えてもらい、教室とは異なる自然な日本語の定着につなげる。
	空白地域を含む場合、空白地域での活動	
	□ 取組による体制整備	地域で開催されるボランティア活動に在住外国人が参加することにより、地域の日本人コミュニティに外国人の存在を可視化して、地域住民との接点を作る。また石川県や小松市などと連携・協力の推進を図り、多文化共生や日本語教育の重要性への理解及び推進へとつなげる。
	取組による日本語能力の向上	ゴミの分類や、環境問題への取り組みに関する日本語の習得及び、地域住民との会話を通して身近な方言を理解できるようになることにより、地域での生活や職場での日本人従業員とのスムーズな関係づくりにつなげる。
	参加対象者	地域住民（外国人、日本人ともに）　参加者数（内 外国人数）：3,500人（33人）
	広報及び募集方法	地域住民へはFM石川や小松市広報を通して、外国人住民には日本語教室学習者への声かけや当協会facebook・外国人facebookグループへの投稿、多言語情報誌での案内
	開催時間数	総時間　1時間（空白地域　　時間）
	主な連携・協働先	石川県、小松市エコロジー推進課、小松市国際都市推進課、FM石川、外国人コミュニティ
	開催場所	小松市安宅海岸

参加者の出身・国別内訳（人数）

中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
7	8				2	5	6

アメリカ（2人）、ウルグアイ（1人）、ドイツ（1人）、イギリス（1人）

実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成28年6月19日（日）8:00～10:00	2	小松市安宅海岸	33	地域で行われているボランティア活動に参加する	地域で開催されている環境ボランティア活動に参加し、地域住民と一緒に活動することにより交流を図り、相互理解へと繋げる		村上　洋子 牧本　暢子 大杉　桂子 中村　知恵 本田　昌代

（1）特徴的な活動風景（2～3回分）

〇取組事例①

7：30に集合し、市役所のバスで安宅の海岸まで移動した。多くの県民と一緒に海岸に落ちているゴミを集めて回った。海外から流されて来たプラゴミなどもあり、どこの国から辿りついたかとか珍しいゴミを発見したりとボランティアをしながら周りの日本人と日本語で楽しい会話ができていた。親子連れの参加もあった。

（2） 目標の達成状況・成果

活動をしながら、参加している地域の人たちと話せたので、参加者からはとてもいい体験だったと好評だった。親がボランティア活動をする姿を子供に見せられてよかったという意見もあった。後日ここで拾ったゴミは環境を考えるときに非常に役にたった。自分たちの海は自分たちの手できれいにしたいという意見もあった。学習者にとっても有意義な体験だった。また海を身近に眺めることで、津波の怖さを語る時にもこの海岸での清掃は役にたった。

（3） 今後の改善点について

今回は晴天に恵まれて、予定通りおこなわれたが、朝早くの清掃活動の上、天候に左右されるイベントなので、電話を持たない外国人に連絡がつかない場合も想定され、当日朝まで予定通りあるかどうか心配しなければならなかった。ボランティア活動に積極的な外国人がいる一方で、教室での勉強を望む声も聞かれた。

＜取組3＞

取組3	取組の名称	外国人の意識啓発のための地域防災訓練参加
	取組の目標	近隣市町村の防災士になりたい外国人を対象に防災士にチャレンジし、防災士になった外国人が地域住民と共に地域で開催される防災訓練に参加する。普段はあまり耳にすることのない、防災に関連する専門用語も理解できるようにし、災害時には日本語で情報を入手し身を守ることができるよう、また、命にかかわる現場では日本語がわからない外国人の助けになれるよう取り組む。また外国人防災士が他外国人と一緒に防災訓練に参加することにより、外国人が外国人へ防災に対する意識啓発を行うことができるよう取り組み、地域住民との顔の見える関係づくりができるよう進める。
	取組の内容	多くの自治体では地域防災力強化に向けて、「自助」「共助」に関する取り組みが行われている。地域防災力向上の担い手として関心が高まっている防災士に、定住する外国人にもなってほしいという近隣の市町村の要望に応えて、防災士にチャレンジする。また防災士にチャレンジすることによりいざというときに慌てずに、指示された日本語が理解できるように、専門用語を覚え、周りの母国の人たちの助けになれるように、日本語能力をつけることを目標とする。また防災に対する意識を深め、防災士として、地域で開催される防災訓練に参加し、外国人の防災への意識啓発への働きかけに協力するとともに、地域住民との災害時ネットワークづくりができるよう関係を作る。
	空白地域を含む場合、空白地域での活動	
	取組による体制整備 ☐	外国人も地域の一員として責任と自覚を認識する。いざという時に周りの外国人を手助けできるよう、消防署や市の協力を得て多文化共生社会推進への理解を深める。
	取組による日本語能力の向上	防災士として必要な語彙や漢字及び災害時に必要な日本語を習得することにより、地域の防災訓練等に参加しやすくなり、非常時における地域住民との連携体制構築にもつながる。
	参加対象者	地域住民（外国人、日本人ともに）　参加者数（内 外国人数）467人（61人）
	広報及び募集方法	日本語教室学習者への声かけや、当協会Facebook・外国人Facebookグループへの投稿、多言語情報誌での案内
	開催時間数	総時間　7時間（空白地域　時間）
	主な連携・協働先	小松市、小松市消防本部、外国人コミュニティ
	開催場所	小松市立粟津小学校

参加者の出身・国別内訳（人数）	中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
	10	19				4		15

アメリカ（3人）、シンガポール（1人）、マレーシア（2人）、ドイツ（2人）、ウルグアイ（2人）、ペルー（1人）、台湾（2人）

実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成28年10月16日（日）8:00～12:00	4	小松市立粟津小学校	25	防災について	粟津地区の地域住民と一緒に外国人観光客という設定で避難するところから様々な防災訓練に参加した。		グラッシ　徳子 村上　洋子 大杉　桂子 多島　智枝 牧本　暢子 本田　昌代
2	平成28年12月11日（日）9:00～12:00	3	小松市消防本部	36	防災について	防災士の資格を取得した外国人6名が主導し母語で説明を加えながら防災訓練をした。		グラッシ　徳子 村上　洋子 中村　知恵 牧本　暢子 天野　晴美 杉本　ファビオ ポンシアノ　マルシア 真田　サオリ 金　楊玲 佐々木　アマウリ 郷原　トモコ

（1）特徴的な活動風景（2～3回分）

〇取組事例①

【第1回　28年10月16日】 小松市総合防災訓練
7：30に集合し、市役所のバスで会場となる粟津温泉に向かった。今回私達は外国人観光客という設定で、小松市消防本部が作成した「外国語対応の避難場所マップ」に沿って地図アプリを使い、避難場所を探し避難するというタスクが与えられていた。緊張して臨んだが避難場所はすぐに見つけることができた。避難場所である小学校に着いてからは瓦礫の下敷きになっている人たちの救助や怪我をした人の応急手当あての仕方、避難所生活の様子や災害ボランティアの役割などを学んだ。超級クラスでは6名の外国人が防災士としての勉強を始めていたので、協力してもらい、通訳もしてもらうことができた。

○取組事例②

【第2回　28年12月11日】 外国人自主防災訓練
消防署の協力により防災士の資格を取得した外国人6名が主導し、消火器や煙体験、簡易担架の作り方、起震車での地震体験などの防災訓練を行った。日本語に加え母語でも他の外国人参加者に初期消火の仕方やその後消火できなかった時はすぐに逃げる、などの説明をし、防災意識の啓発につながった。

（2） 目標の達成状況・成果

・11月に防災士の資格を取得した超級クラスの外国人防災士は、12月に更に消防署の協力で、簡易担架の作成や、煙体験、起震車での地震体験などの活動をすることができた。また、地域住民と一緒に訓練に参加することもでき今年度は防災についてはかなり有意義な時間が取れ防災に対する意識啓発につながった。

（3） 今後の改善点について

対応できる言語がポルトガル語、英語、中国語、スペイン語なので、今後、ベトナム語、インドネシア語、タイ語などもう少し言語の幅を広げられるといい。防災士の試験等は小松市が全面的に金銭面のサポートをしてくれたのだが、在住外国人であることが条件なので、技能実習生が多いベトナム人、インドネシア人はサポートが受けられないのが課題である。

＜取組4＞

取組4	取組の名称	小松のいいところ発見！パート3
	取組の目標	昨年度の取り組みに引き続き自分たちの街を知り、多言語で観光地の案内ができるようになって地域のボランティアガイドの一員に加わることができるよう取り組む。また地域の地名を覚え、看板などの漢字を理解し、自分たちの街を知ることで、地域住民の一員としてまちづくりの一端を担うことを目標とする。
	取組の内容	昨年度に引き続きの取り組みであるが、今年度も「多言語文化通訳」として、地域のボランティアガイドの一員に加わって、自分たちが母語で日本人ボランティアガイドなしで、交通手段を考え、目的地の地名や、看板に書かれたことの意味が分かるようにする。また、観光地の案内をできるようになることで、地域住民と一緒に地域の一員としてまちづくりを考えることができるようになる。また、昨年、一昨年のリサーチ結果も含め、多言語観光情報パンフレットの作成やSNS等での情報発信をするボランティア活動も行い、取組5で地域へ広く発信することにより、外国人も地域の一員としてまちづくりを担っていることを知ってもらう機会とする。
	空白地域を含む場合、空白地域での活動	
	取組による体制整備□	行政や地域の団体と連携・協力し外国人が観光地を知ることで、外国人から見たアピールポイントや外国人が必要とする情報及び案内を小松市観光交流課に提供し、地域住民と一緒にまちづくりを担っていることを知ってもらい、それを発信することで、日本語教育への理解を深めてもらい、日本語教育の体制整備へとつなげる。
	取組による日本語能力の向上	実際に説明を受け、自分の目で見て感じることで、歴史的、文化的背景及びそれに関する日本語をより具体的に習得し、地域のことを深く知る。
	参加対象者	外国人　／　参加者数（内 外国人数）：30人（18人）
	広報及び募集方法	日本語教室学習者への声かけや、当協会Facebook・外国人Facebookグループへの投稿、多言語情報誌での案内
	開催時間数	総時間　5時間（空白地域　　時間）
	主な連携・協働先	小松市、里山自然学校こまつ滝ヶ原
	開催場所	里山自然学校こまつ滝ヶ原

参加者の出身・国別内訳（人数）

中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
	9						4

アメリカ（1人）、ドイツ（1人）、マレーシア（1人）、イギリス（1人）、フィリピン（1人）

実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成28年7月17日（日）9:00～15:00	5	里山自然学校こまつ滝ヶ原	18	自分たちのまちを知る	今年度日本文化遺産に認定された小松市の石切場へ行き、視察・石彫り体験のプロジェクトに参加した。		北川　雅恵 村上　洋子 中村　知恵 本田　昌代

（1）特徴的な活動風景（2～3回分）

〇取組事例

【第10回　28年7月17日】
小松のいいところ発見ということで今年度は日本遺産にも認定された小松市の滝ヶ原の石切場を訪問した。今回も市役所の協力によりバスを出してもらい滝ヶ原に向かい、古くからある石で作られたアーチ型の橋を幾つか見学し、石の採石場に向かった。採石場の中は真夏でもひんやりしていて、昔は全部その石を手作業で切り出していたと説明を聞き、皆驚いていた。小松で取れた食彩で昼食を取ったあと、午後は採石場の石を使ってハート型に石を形作る作業に取り組んだ。思いのほか石が固く、真剣に取り組んでいた。昼食を作ってくださった地元の方やプロジェクトの講師などとも交流を図ることができた。

（2） 目標の達成状況・成果

・新しい小松の魅力的な場所として参加者は楽しんだ。自然が豊かできれいな場所である。日本人の参加者と共に一緒に石切場を見学したり、石を掘ったりできて参加した外国人の評価は高かった。

（3） 今後の改善点について

この場所は自然が豊かできれいな場所であるが、交通手段は車しかなく、人里からも離れているので、海外からの家族を案内するにはちょっと不便な場所だ、外国人用に外国語表記もしてほしい等という意見がでていた。

＜取組5＞

取組5	取組の名称	取り組み成果の発信
	取組の目標	本事業の取組や活動をとおして得られた成果や、意見・提案などを在住外国人が自ら地域に発信することによって、多文化共生社会における相互理解の重要性や、日本語教育推進への理解につなげる。
	取組の内容	小松市国際交流協会主催の外国人による日本語スピーチコンテストにあわせ、地域住民と外国人が気軽に話をし、交流できるよう会場設営も工夫をして、外国人自らが本事業の取組や活動及び取組をとおして得られた成果や感じたことなどを発信する。外国人自らが発信することにより、地域にはたくさんの外国人がいること、その外国人も含めた多文化共生社会の重要性や日本語教育推進への理解が深まるよう努める。
	空白地域を含む場合、空白地域での活動	
	取組による体制整備 □	地域の企業経営者があつまる小松ロータリークラブに協賛をしてもらい、取組を発信することでこれまであまり関わりがなかったような地域の方にも外国人の実状や日本語教育の重要性を理解してもらうきっかけにする。
	取組による日本語能力の向上	発信する機会を設けることにより、地域の人が話す日本語（方言等）に触れ、知ることで日本語教室以外の職場や生活のなかで、「生きた地域での日本語」を習得することができる。
	参加対象者	地域住民（外国人、日本人問わず）　参加者数（内 外国人数）：61人（17人）
	広報及び募集方法	小松市の広報誌、多言語広報誌での案内、ホームページやFacebookへの投稿、当協会会報誌、小松ロータリークラブにて案内等
	開催時間数	総時間　1.5時間（空白地域　　時間）
	主な連携・協働先	小松市、小松ロータリークラブ
	開催場所	こまつまちづくり交流センター

参加者の出身・国別内訳（人数）	中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
	1	2				2	1	8

ウルグアイ（1人）、マレーシア（1人）、ドイツ（1人）

実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成29年1月8日（日）13:45～15:15	1.5	こまつまちづくり交流センター	発表者3	取組の発信	今年度の取組を参加した外国人自らがPPTで資料を作成し、地域の人へ発信した		吉田　良恵

（1）特徴的な活動風景（2～3回分）

〇取組事例

今回は小松市国際交流協会の日本語スピーチコンテストと同時に今年度の取組発表を行った。小松ロータリークラブの来賓や市の関係者など多くの人が集まる中、準備したパワーポイントを使ってクリーンビーチ石川のボランティア活動の報告をウルグアイ人が、小松市滝ケ原町の魅力に迫るストーンハートプロジェクトの発表をブラジル人が、小松市の防災訓練に参加した様子を中国人がそれぞれ原稿にまとめ発表した。発表者は全員超級クラスのメンバーが行った。

（2） 目標の達成状況・成果

パワーポイントを用いての発表は3名とも初めてだったので、大変だったとの感想だった。一昨年の経験者たちがみな協力しスライドの作成を手伝ってくれたので、なんとか短期間に仕上げることができた。今後職場などで発表するときにも必ず役に立つという感想もあった。負担ではあったが、成果は今後いかされると思われる。スピーチを聞きに来ている人たちにもこれらの取組を発表することで内容を知ってもらうことができよかった。

（3） 今後の改善点について

発表の時期が1月の初めでお正月休みを挟むのでなかなか練習の時間が取れなくて大変だった。昨年度のように小松市主催のイベントなどで発表の場を設けてもらう方がよりひろく地域住民に広報ができ、活動を発信できたのではないかと思われる。

4． 事業に対する評価について

（1） 事業の目的・目標

・昨年度実施した「外国人のための日本語講師養成講座」の修了者たちは、日本語の基礎や教え方を学ぶことにより日本語力の底上げを図ることができた。今年度はその修了者たちが日本語教室初級クラスの指導補助として実際に自分たちの母語で日本語を教えることにより、日本語を学ぶことを躊躇していた外国人の学習の機会を提供し、日本語学習のすそ野を広げ、指導者の育成にもつなげる。そして将来的には日本人指導者と外国人指導者の協働による「小松式日本語教育プログラム」を策定できるよう連携を深めていく。また、地域で開催されるイベントや取組に外国人が積極的に参画・参加していくことで、行政をはじめ地域の諸団体や地域住民との連携・協力関係を築き、日本語教育の重要性や多文化共生の推進に理解をしてもらい、共生・協働のまちを地域と一緒になって進めていくことを目的とする。

（2） 目的・目標の達成状況・事業の成果

・今年度は外国人日本語講師に日本語教室の初級クラスの指導補助としてはいってもらい、日本語を学ぶことを躊躇していた外国人の学習機会提供に努めてきた。その甲斐あってか新規の学習者も増えた。また教える側の外国人にも講師としての責任や自覚が芽生えてきており今後、日本人指導者と外国人指導者の協働による「小松式日本語教育プログラム」を策定できるよう更なる育成を続けていきたい。また、日本語教室の超級クラスの学習者のなかから外国人防災士が誕生し他の外国人の防災に対する意識啓発に大いに貢献してくれた。

（3） 地域の関係者との連携による効果，成果 等

・今年度、小松市の石文化が日本遺産に認定されたことを受け、小松市からも在住外国人の方にも視察をしてほしい、との要望もあって里山自然学校こまつ滝ヶ原を視察し、同校の方や、地元食材を使い昼食を出してくれている地域住民の方たちと交流を図り、協力を頂くことができた。また、本事業の取組ではないが実施団体である当協会の事業に小松ロータリークラブより協賛を頂き、本事業の取組発表を聞いていただくことができた。小松ロータリークラブからは「これからもぜひ協力をさせていただきたい」という有難い言葉も頂いた。来年度以降も地域の諸団体や企業などと連携し、日本語教育の体制整備へと繋げていきたい。

（4） 事業実施に当たっての周知・広報と，事業成果の地域への発信等について

・事業実施に当たっての周知活動としては、日本語教室学習者への周知、当協会フェイスブックやホームページ、小松市の多言語広報誌、SNS外国人グループでの発信に努めた。今後は外国人が集まる場所（教会やレストラン、店舗など）でも周知活動をしていきたい。事業成果の地域での発信は小松市や他団体などのイベント等でもブースを設けさせてもらうなど積極的に行い、外国人や日本語教育に対する理解につなげていきたい。

（6） 改善点，今後の課題について

・今年度、外国人日本語講師たちは指導補助として初級クラスで実際に教えることによりそれぞれが指導上の課題を抱えているようで、一緒に課題の解決に当たり更なる育成を進めていきたい。また外国人指導者が使いやすい教材を作成することも急務である。加えて現在ポルトガル語を母語とする外国人指導者のみで他の言語の学習者に対応できない状況なので今後、他言語を母語とする外国人指導者も育成し日本語学習の更なるすそ野拡大を進めていきたい。地域との連携においては、小松市や消防署とは連携・協力を継続できており関係が確固たるものとなったが、地域の諸団体や企業などとの連携はまだ少ないので今後さらに協力・連携関係を深め、日本語教育の体制整備へと繋げていきたい。

（7） その他参考資料

・取組2 地域のボランティア活動に参加しよう チラシ

・取組3 外国人自主防災訓練 チラシ（小松市消防本部作成）

・取組4 小松のいいところ発見！パート③ チラシ